

まめなぎ会の発足

私たち、まめなぎ会は長田地区の有志で結成した会です。当初は長田を考える会として発足しましたが、学校周辺にある山から名前をとって、まめなぎ会と改めました。閉校後に自治会館として使用されていた長田小学校を改装して作られた、田舎体験宿泊施設お山の学校「ながた」の管理運営を行っています。

自治会の活動 長田もここから動き出す

高度経済成長のひずみはこのへき地にも容赦なく押し寄せ、日増しに多くなる出稼ぎの実態をくい止めることができず、長田小学校も一時は百余名いた児童数も10名となり、平成15年度にやむなく歴史の幕を下ろすことになりました。そしてその翌年である平成16年度からは長田自治会館として使用されることになりました。

学校がなくなり、長田の拠点がなくなるのは非常につらいものがあります。このままでは長田もさみしくなる一方だと有志が立ち上がり自治会に提案し、自分たちでできることから始めよう、そして自分たちに何が必要なのかを考えました。そうすると「自由に集まって自由に話し合う場所がほしい」、「昔からある囲炉裏がいいのでは」、「それと石釜」、「石釜があれば新しいメニュー開発ができるのではないか」、「ならば釜戸もいるのでは」と夢はふくらみ、有志

の力、長田の力で着々と校庭に形作られていきました。実際に囲炉裏などが出来上がると、やはり屋根があるととなり、いつきに屋外休憩所も出来上がりました。

この屋外休憩所は例えば自治会による「長田食の文化祭」の会場などとして活用されています。初回の「長田食の文化祭」は平成18年度に、各所からの援助をいただき、大成功に終わりました。それから現在まで途切れることなく引き継いでいます。こうして何かと利用している屋外休憩所も手狭となり増築を計画し平成23年度に地域づくり事業で、3倍の広さに増築できました。また長田小学校の時から、松山市の味酒小

特集⑥ 廃校舎の活用

学校から自治会へそしてまめなぎ会



長田まめなぎ会 会長 太田 利栄 (内子町)



石窯の作成

学校との交流を行っており、小学校閉校後も自治会が受け継ぎ、人数に限りはありません。現在も林間学校として開講しています。その時のイベントとして、ドラム缶風呂をわかつて喜んでもらえたことがあります。それを受けて五右衛門風呂をつくろうと提案があり、平成21年度の地域づくり補助事業で直径150cmの巨大五右衛門風呂を据え付けた屋根付き五右衛門風呂を建築しました。

お山の学校「ながた」の整備まで

以上のように屋外の施設はできましたが、やはり学校を何とかしたいという思いが強く、自治会で先進地に足を運び協議を重ねました。

小学校の校舎として使用していた時

屋外休憩所



ちろんのこと、長田自治会館となった後もこの場所は長田地域の中心的施設であり、地域の活動及び地域のコミュニティの拠点となっていました。また木造の建物であるために農村景観にもマッチして長田の農村風景そのものとなっており、長田を訪れる方からも「美しい」「懐かしい」と言われます。そして、長田の自治会役員が施設の新しい活用法について内子東自治センターに相談したのがきっかけとなり、以上のような特徴を活かした「田舎体験宿泊施設」として整備することとなりました。

具体的には農林水産省の農山村活性化プロジェクト支援交付金から廃校・廃屋等改修交流施設整備事業を受けて校舎整備をおこないました。1、2年教室・3、4年教室を宿泊施設、図書室を食堂とし、理科室は調理室に改修しました。調理室は2部屋に区切り、宿泊された方が使用する自炊用と、まめなぎ会が宿泊された方に食事を提供する際に使用する食事提供用とに分けています。図書室は浴室、脱衣室、屋外トイレとするなどしました。

ソフト面の整備としては、宿泊される方への料理提供について、食事



お山の学校「ながた」

メニューの検討会、味付けの勉強会を女性グループが中心となって行いました。会員個々がどのような受入態勢ができるか調査をしてそれぞれの調和を図りました。

屋号をお山の学校「ながた」として実践的な勉強会に入ってから、これまで長田地区が移住者の積極的な受け入れを行い、地域づくり研修、特産品づくり研修を毎年実施してきたことや長田神楽の道具の保存、地域文化の継承に努めてきたことなどを活かした体験メニューを作りました。特に長田うどん・こんにやく・豆腐・ピザづくりについては会員全員だれでも指導できるように充実を図っています。

お山の学校「ながた」の今後

平成24年7月2日にお山の学校「ながた」をオープンして以後、多くの人に支援、宿泊、体験に来ていただいています。

今後の課題としては、冬の間の来客をどうするか、地元の人に利用してもらうためにはどうすればよいかを挙げられます。また農村体験の充実、修学旅行生の受け入れなどの計画を練ることも必要です。

お山の学校「ながた」には、温泉も、海も、川もありません。しかし、幸いにもホールがあり、教室があり、町内初のプールがあります。これらの利点を生かして小中学生の部活動、大学生による勉強会などに使ってもらいたいと考えています。

また山を歩きながら、昔からの由来について説明をし、食材を探しながら帰り、一緒に料理するなどの体験メニューを増やしていきたいと思っています。

他には1人暮らしの老人が多くなってきたので、配食サービスなども考えています。

まだまだ歩み始めたばかりですから、あれもこれもと考えるばかりです。一つ一つ、一步一步確実にものにしていきます。



こんにやくづくり